

第2回 JICA 海外協力隊社会還元表彰 式典を実施・大賞が決定しました！！

JICA では、JICA 海外協力隊の事業目的の一つである「ボランティア経験の社会還元」事例を収集し好事例として紹介することで、協力隊経験者の社会還元の機運を高めると共に、より良い社会の実現を目指しています。

6/7(金)には JICA 麹町にて、帰国後 10 年以内の JICA 海外協力隊経験者で、国内外・公私問わず社会課題の解決に取り組んでいる方を表彰する『帰国隊員社会還元表彰』の第 2 回式典を実施。49 名の応募者から各賞に選出された 6 名が活動内容をプレゼンし、選考委員による審査の結果、大賞は一般社団法人「チョイふる」代表理事として足立区で生活困窮家庭の支援活動に取り組まれている栗野泰成さんに授与されました。



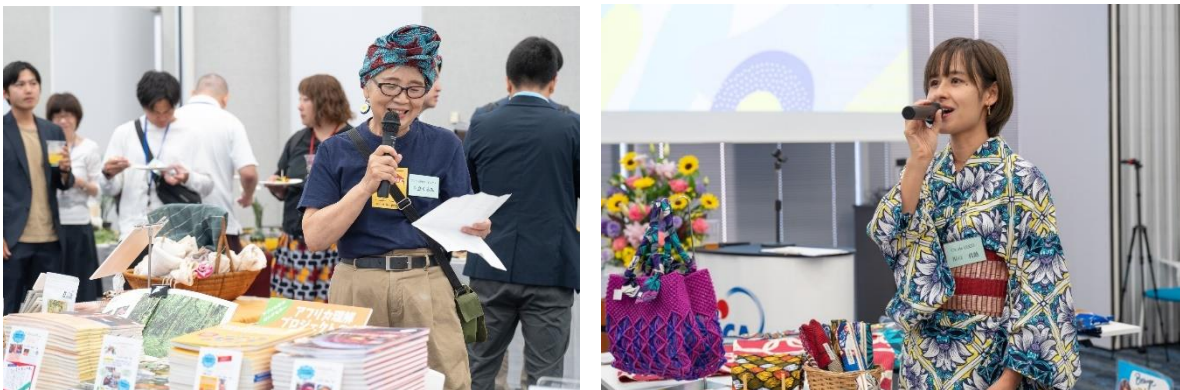
大賞を受賞した栗野氏（左）と田中 JICA 理事長（右）



受賞者・審査員・JICA 理事長・理事集合写真。前列左より浅野氏、東氏、宮崎審査委員長、小柳氏（PC 画面）、栗野氏、田中 JICA 理事長、江川氏、香川氏、後列左より橘局長、矢島審査員、寺尾審査員、河内審査員、井倉 JICA 理事。

大賞の栗野さんを含む6名の受賞者によるプレゼンでは、業種業界は異なるもののソーシャルキャピタルを重視する視点やフットワーク軽くアクションを起こす行動力、諦めない力、人を巻き込む力、本音を引き出すコミュニケーション技術など、協力隊で培った経験が現在の取り組みに繋がっている点が共通して報告されました。

JICAの田中理事長からは、各受賞者の協力隊経験が多様な分野において社会課題解決に活かされており、まさに開発協力大綱に記載の「対話・協働することにより新たな解決策を共に創り上げていくことが必要であること、そして生み出された新たな解決策や社会的価値を我が国にも環流させること、こうした取組の中で、我が国と開発途上国の次世代を担う人材を育てていくことにより、我が国自身が直面する経済・社会課題解決や経済成長にもつなげることを目指す」を実践する取組みであるとコメント。今後もJICAが帰国後の社会還元活動を積極的に協力・支援をしていくことが語られました。





ネットワーキングイベントでのOV6団体による事業紹介


式典後はネットワーキングイベントを開催。同イベントではOVが起業した6団体による事業紹介等を実施し、参加者同士の活発なネットワーキングが行われました。受賞者を含む帰国隊員や、協力隊のサポーター宣言企業や団体、報道機関（17名参加）、本表彰を後援する（一社）日本経済団体連合会や全国地方新聞社連合会、外務省、JICA職員など合計100名以上の皆さまに参加いただく盛況な会となりました。

改めまして本表彰の実施にあたり、ご応募をいただいた帰国隊員の皆さま、多方面からご支援いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

■ 各賞の受賞者詳細 ■

| 大賞・アントレプレナーシップ賞 | |
|-----------------|--|
| 氏名 | <p>栗野 泰成</p> <p>隊次：2014 年度 2 次隊</p> <p>任国：エチオピア</p> <p>職種：体育</p> <p>現在：一般社団法人チョイふる 代表理事</p>  <p>Photo：クロスロード編集室</p> |
| 取り組み名称 | 生活困窮家庭の子どもたちが対面・ネット上で集える場づくり（東京都足立区） |
| 活動内容 | ①食料品の無料配達、②居場所事業（子供食堂に遊びの体験をプラスしたあだちキッズカフェ、ゲームを活用したオンライン上の公園の提供）、③繋ぎケア事業（LINE を活用した生活相談）の 3 本柱を通じて、地域から孤立しがちな困窮子育て家庭とつながり、地域住民や、専門機関等と連携し、既存の支援に繋げる伴走支援を実施。また、アプリを用いて多くのボランティアが参加しやすい仕組みを構築。 |
| 当日プレゼン動画 | https://www.youtube.com/watch?v=YDIpuSoQj3E&t=1075s |
| 活動詳細はこちら | <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人「チョイふる」HP ・ [特集]カモナマイタウン! -Come on-a my town!- 地域で居場所をつくるOV（JICA 記事） |


| アントレプレナーシップ賞 | |
|--------------|--|
| 氏名 | 小柳 真裕 派遣隊次：2014年度1次隊 任国：カンボジア 活動職種：青少年活動 現在：ACNC認定 Tuk Tuk for Children 理事、 Rermork for Children アドバイザー  |
| 取り組み名称 | 三輪アプローチでカンボジアの子どもたちへ充実した幼児教育を！（カンボジア） |
| 活動内容 | 派遣中に感じた幼稚園の教育現場における教員のスキル向上と教材支援の必要性という課題にカンボジアで取り組む。また、デジタル教材の制作に力を入れており、取り組み開始から数年でサービスを提供しているプラットフォームには既に10万人以上がアクセスしている。 |
| 当日プレゼン動画 | https://youtu.be/YDIpuSoQj3E?t=310 |
| 活動詳細はこちら | <ul style="list-style-type: none"> ・ Rermork for Childiren ・ TukTuk FOR CHILDREN |

| 地域活性化賞 | |
|--------|---|
| 氏名 | 浅野 拳史 隊次：2015年度1次隊 任国：ルワンダ 職種：理科教育 現在： 株式会社マキノハラボ 代表取締役  |
| 取り組み名称 | 廃校小学校を利活用した教育環境の向上及び地域活性化ビジネス（静岡県牧之原市） |

| | |
|----------|--|
| 活動内容 | <p>廃校を行政から借り上げ「新たな教育・人づくり・まちづくりの拠点」として利用する施設活用事業などで、地域の活性化に取り組んでいる。協力隊時代の学び「地域で活動する上では多面的に取り組むことが重要」という点を活かし、教育（外国人材への日本語教育）、スマート農業、まちづくり等、地域住民を巻き込みながら地域と共に発展していく体制を推進。</p> |
| 当日プレゼン動画 | <p>https://www.youtube.com/watch?v=YDIpuSoQj3E&t=1540s</p> |
| 活動詳細はこちら | <ul style="list-style-type: none"> ・ マキノハラボ HP ・ 日本とルワンダをつなぐ架け橋に（JICA 記事） |

地域活性化賞

| | | |
|----------|---|---|
| 氏名 | <p>東 恵理子</p> <p>隊次：2013 年度 3 次隊</p> <p>任国：バングラデシュ</p> <p>職種：コミュニティ開発</p> <p>現在： 東美濃ビアワークス 代表取締役</p> |  |
| 取り組み名称 | <p>乾杯が繋ぐ、地域とともに創っていく町づくり（岐阜県瑞浪市）</p> | |
| 活動内容 | <p>参加型の体験コンテンツが人を動かすきっかけになるという協力隊時代の経験を活かし、地元で地域の独自性を活かした体験コンテンツとしてのクラフトビールを醸造している。クラフトビールを通じて、地域の魅力を発信。人口減少や高齢化が進む町の関係人口拡大、移住促進にも貢献している。</p> | |
| 当日プレゼン動画 | <p>https://www.youtube.com/watch?v=YDIpuSoQj3E&t=2090s</p> | |
| 活動詳細はこちら | <ul style="list-style-type: none"> ・ カマドブリュワリーHP ・ 日本も元気にする青年海外協力隊 Interview15 | |

| ボランティア活動を通じた社会還元実践賞 | |
|---------------------|--|
| 氏名 | 江川 裕基 隊次：2017年度2次隊 任国：ブルキナファソ 職種：環境教育 現在：NPO 法人クリーンオーシャンアンサンブル 代表理事  |
| 取り組み名称 | 海洋ごみ MAP を活用した海洋ごみのデータ化と回収装置開発（香川県小豆島町） |
| 活動内容 | 海洋ごみ回収装置の開発、分別型ビーチクリーン、ごみ再利用を推進。海洋ごみ MAP を活用し、地元漁師と共同して海洋ごみの回収を実施。これまで放置されてきた海洋ゴミの回収が持続的にできる仕組みの構築を目指し、漁業関係者のみならず、地域住民、行政と協力関係を築き取り組んでいる。 |
| 当日プレゼン動画 | https://youtu.be/YDIpuSoQj3E?t=2754 |
| 活動詳細はこちら | <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人クリーンオーシャンアンサンブル HP ・ アフリカでの経験を生かし海洋ゴミ問題に取り組む【ブルキナファソ】 (JICA 記事) |

| 多文化共生賞 | |
|--------|---|
| 氏名 | 香川 沙由理 隊次：2012年度3次隊 任国：マラウイ 職種：看護師 現在：成田赤十字病院 国際診療支援室 看護師  |



| | |
|--------------|--|
| 取り組み 名称 | 多文化共生時代における成田赤十字病院の外国人患者・家族の支援活動（千葉県成田市） |
| 活動内容 | 協力隊経験を業務に活かし、外国人患者・家族の支援、外国人患者・家族に関わる看護師の支援を行っている。院内の看護師を対象とした外国人患者に関連する情報の発信、異文化看護に関する講義を実施する等の活動を実施。 |
| 当日プレゼン動画 | https://youtu.be/YDIpuSoQj3E?t=3131 |
| 活動詳細 はこちら | ・ 思い出の一枚「マラウイで学んだ異文化」 （JICA 記事） |

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 青年海外協力隊事務局 社会還元促進課 社会還元表彰担当

E-mail: jvtpc_sinrosien6@jica.go.jp